



ELNEC-J 「質の高いエンド・オブ・ライフケアの達成」

5月からスタートしたELNEC-Jの講義内容も最終回となりました。

2月14日のモジュール10では、質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを達成するために看護師が理解しておくことは何かを学びました。

ケアの質の改善の機会は日々の臨床の中に数多く存在します。それに気づくことが、患者さんやご家族の満足感の向上につながります。

これまでに学んだ「知識と技術を身に着けること」「チームとして取り組むことの重要性」を踏まえ、日々、それぞれの医療現場で患者さんの気持ちに寄り添うケアに取り組んでいます。

ELNEC-Jとは

「米国のアメリカ看護大学協会と City National medical Center が共同して設立した教育プログラムの日本語版です。エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための体系的なプログラムとなっています。

ELNEC-Jにおけるエンド・オブ・ライフ・ケアとは「病と老いなどにより、人が人生を終える時期に必要なとされているケア」のことです。

管理者からひとこと



小林市病院事業管理者
坪内 斉志

受講生の皆さん、修了おめでとうございます。

西諸医療圏においても高齢化が進み、私たち医療従事者には質の高い緩和ケア、エンド・オブ・ライフ・ケアの提供が求められます。今回の皆さんの学びが、地域の医療機関の連携や医療の質の向上に大いに貢献することと期待しています。



講師からひとこと



・ELNEC-J
コアカリキュラム指導者
・緩和ケア認定看護師

主任看護師 大平落里美

当施設で開催していましたが ELNEC-J コアカリキュラム看護教育プログラムは最終日を迎え、受講者全員が修了することができました。

受講生の意欲的な参加姿勢が、グループワークや意見交換の場で各々に発言する機会となり、大変充実したプログラムになりました。私はこの場を提供したにすぎず、受講生自身が ELNEC-J を作り上げ、満足度の向上につながったと思っています。他施設からの参加が得られたことで、地域での顔のつながりもできたのではないのでしょうか。また、私自身も西諸地域のお施設の状況や在宅療養の実際を知ることができ、学び得る事も多くありました。

初めて当施設で企画した ELNEC-J でしたが、事業管理者や看護部長をはじめ、賛同し協力してくださった方々、受講生の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今月のお花

小林華道連盟の皆様から、すばらしいお花をいただいています。

